

働く男のライフスタイル情報紙

# Biz [ ビズスタ ] Life Style

# 2016 09

特別版

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、名古屋、関西、京都・滋賀、仙台、福岡にて55万部発行  
下記URLまでアクセスを。

[www.biz-s.jp](http://www.biz-s.jp)

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは  
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作/株式会社デイリースポーツ案内広告社  
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F  
©2016 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD

スマートフォンの高機能により、移動の際に持ち歩くモノが減った気がする。カメラや電卓、地図に文庫本。ノートPCはおろか最近ではタブレットすらオフィスに置いていく時代とあっては、もう手ぶらに近い状態で出張に出かけることもできるようになった。

だが、ひとつだけ、スマホでは代用が効かないものがあることに気づく。それは、時計だ。

時計機能はスマホ以前、いわゆるガラケーが登場した時点で搭載されたものだけに、本来は真っ先に身支度から省略されてもおかしくないのだが、第一線のビジネスパーソンは腕から外さない。それどころか、より古風な機械式時計は、大人の趣味として完全に定着している。時間さえ分かればよいはずなのに、なぜスマホに任せないのか。そこには、時刻表示以上の「引力」があるからだ。

## 王道にして革命家の65年

時計と言えば欧州ブランドが絶大な人気を誇る分野だが、自動車と同様に、変遷と進化を語る上で必ず名前が出る日本企業がある。1950年創業、昨年65周年を迎えた「オリエント時計」だ。

同社は、常に「期待を超える価値の提供」を実践し続けてきた企業だ。一例を紹介すると、ムーブメント石数で世界一を目指した結果として辿り着いた100石の高級時計「オリエントグランプリ100」や、当時では世界一の薄さを誇った自動巻の「オリエントファイネス」は、いまでも語り草の革新的モデル。水深100m前後までが一般的だったダイバーズウォッチの限界を一気に引き上げたのも、その後定番となる9面カットガラスを「商品化」したのも、オリエント時計の功績だ。

欧州のプレミアムブランドが焦るような技術的成果を挙げつつ、その一方ではマニアックな実験意欲も旺盛。クラシカルな高級時計の王道的なイメージに反して、文字板に穴を空けたり、奇抜なカラーリングを導入したり。常識で考えれば「攻め過ぎ」のアイデアを次々と導入しては、その常識を書き換えてしまうほどのイノベーターでもあるのだ。

## 創業翌年に生まれた看板ブランド

1951年に誕生した名作「オリエントスター」は、いまでも現役の看板ブランドだ。1971年に搭載された独自開発のムーブメント(心臓部)である「46(ヨンロク)系」は、時代に即したブラッシュアップを繰り返しつつ、製造開始から45年を迎えた。単一のキャリアー(固有の型番)で、ここまでのロングライフを達成したものは、世界的にも極めて珍しい。これは技術の継承が正しく行われている何よりの証拠で、ブランド力に胡坐をかかない真摯な姿勢をそのまま表していると言える。

これだけの技術力を誇りながら、必要以上に価格を上げないのも、オリエント時計の大きな特色だ。「最先端技術を搭載しようが、芸術的な価値を語られようが、時計は時計。あくまでも日常品として使用して欲しい」。これも、オリエント時計の顔のひとつだ。

近年のウォッチ人気の中で、再評価の声が大きく高まる、時計界の「メイドインジャパン」。次ページでは、最新作を紹介しよう。



「期待を超える価値」を標榜するオリエント時計は、「3つのよここび」を満たしているかどうか製品づくりの基準となっているという。日常でいつも使用したくなる「着ける喜び」、人に自慢したくなるような「魅せる喜び」、親から子へ、子から孫へ「繋ぐ喜び」。創業から一環して変わらない姿勢だ。



My Favorite Life Style



# ビジネスの袖元は、日本の匠に任せよう。オリエントスターの名品たち。

注目モデルが続々と登場、創業から65年を経てさらに活気づくオリエント時計のモノづくり

ここからはオリエント時計のお薦めのモデルをご紹介します。まずはスケルトンモデルだ。シリーズアップの製品は、90年代の終わりに各分野でチームを巻き起こしたが、やがて収束していった。だが、細かいパーツを組み合わせて針を動かす機械式時計では、「ムーブメント」と呼ばれる心臓部こそが最大の魅力。かつて、チームのはるか前から定番デザインのひとつとして定着している。特に高級ブランドでは、たいいていコレクションの部にスケルトンモデルが用いられているはずだ。

### 時代の趨勢に関係なく歩み続けた道の象徴として

さて、オリエント時計がスケルトンを最初に手がけたのは、1991年のこと。両面スケルトンの「モンビジュ」は、精緻なムーブメントの機械美に加えて何とハーツに彫刻まで施され、ほとんど美術の域まで高感から信じていた話だが、発表当時は、実は発売途上向けの製品だった。1970年代はクォーツが世界を席巻し、1990年代には機械式が復権を果たした腕時計の歴史。私たちがよく知る巨匠のようなブランド群も、奇しくも返す時代の波に翻弄されてきた。だが、オリエント時計は、まるで潜水艦のように世の趨勢に関心を示さず、機械式時計の進化だけに力を集中させていたという。国内メーカーでもいち早くスケルトンの高級モデルを発表できたのは、同社の技術とモノづくりの理念、その強固さを満天下に示すものでもあったわけだ。

1970年代はクォーツが世界を席巻し、1990年代には機械式が復権を果たした腕時計の歴史。私たちがよく知る巨匠のようなブランド群も、奇しくも返す時代の波に翻弄されてきた。だが、オリエント時計は、まるで潜水艦のように世の趨勢に関心を示さず、機械式時計の進化だけに力を集中させていたという。国内メーカーでもいち早くスケルトンの高級モデルを発表できたのは、同社の技術とモノづくりの理念、その強固さを満天下に示すものでもあったわけだ。

### 職人のこだわりが目に見えるスケルトンモデルの愉しみ

看板ブランドの「オリエントスター」の名前を支えるのは、この道ひと筋の匠たち。と云うわけで、初代モデルの登場以来、ゆくりと進化を続けてきたスケルトンの最新作は、目を凝らすほどに職人たちのマニアックなこだわりが見え、嬉しくなってしまう。

針と文字板の間の目製ムーブメントを構成するパーツは、秋田県内にある工場で作られたもの。ジュエラスでありながら華美ではなく、むしろシックな印象を受けるのは、装飾技術と加工力の高さを証し、裏返すと微妙な波目模様が施されており、いちいち仕上げと覗き込んでしまう。これらの加工は、何とすべて手作業とのこと。熟練の職人をもてしても、1日3本程度しか作れないと言われている。そのあがりかたが視覚的に実感できるのもスケルトンモデルの大きな魅力だ。

スケルトンモデルは高級機械式腕時計の魅力を全身で発散するそのフォルムから、内蔵にも人気。この9月に発売になったばかりの新作は、シャンパンゴールドとアンティークシルバーの2種類ラインナップ。バンドも丹精込めた「作品」なので、下のコラムを参照いただきたい。

### ムーブメント製作技術の集大成「大バネ」の主軸モデル

お次は「オリエントスター」ワールドタイムだ。表紙でも触れた通り、実に65年たったオリエント時計を支え続ける「大バネ」シリーズであるオリエントスターの中でもワールドタイムは特

に人気が高いコレクションのひとつ。デビューは1999年と、これ単体でも長い歴史を持つクロノセラ商品となっている。日本のビジネスシーンではまさにスタンダードとなっている。取引先の役員や社長など、その多くは通る機械式時計では唯一の時針と連動する回転リングを装備したムーブメントが搭載されているのだ。世界24都市を記したこのリングは、文字板の内周部にあらわされている。長針短針の動きに合わせて回る機構は高トルクを生み出せる機械式だから、その文字板の24時間表示に都市名が対応している。その都市の時刻がいつでも確認できるというスケルトンだ。

### 細部まで切手を抜かないこの上質が「メイドインジャパン」

もつひつひのポインツが、上質を絵に描いたような質感だ。立体感たっぷりの金属製の文字板は、もつひつひの手の込んだデザインが施されたケースの鏡面の美しさを特筆もの。平面の垂み

解消に効果を発揮する上に、エッジ感もさらに立つ。その威力は絶大なので、ぜひ実物を確認を。サファイアガラスには、SARコートインフラスには、無反射加工が採用されている。活れや傷から守りつつ、光の反射を99%以上も抑えるという同社の看板技術のひとつで、実用性も疎かにしないビジネスパーソンからの評価が高い。また、回転リングの都市名には赤い差し色を施し、24時間表記部には昼夜を示す白と黒で色分け。こうして眺めると、視認性の向上が徹底して追求されていることが分かる。大生のオリエントスターがパワフルなドライブ時間残量表示機能を搭載する点にも注目。インターネット全盛のいま、各国の時刻はスマホでも分かる。だが、いまや時間など、いつでも確認できる時代だとしても、上質を知るビジネスパーソンは愛用のモデルを手首に巻く。その意味で、オリエントスターワールドタイムは、高級機械式腕時計の持つ魅力を雄弁に示す機種と言える。

**Biz Life Style Pick up >>>**

**15年来的「ワールドタイム」ユーザーである本誌編集長からひとこと**



このたびは、ビズスタ「オリエントスター」特集をお読みいただきまして、ありがとうございます。私事も恐縮ですが、私自身もオリエントスターユーザーの一人です。もう15年も前になるでしょうか、社会に出るにあたって初めて購入した機械式腕時計が、「オリエントスター ワールドタイム」でした。当時は、「お洒落でリーズナブルなもの」という目で探したと記憶していますが、ワールドタイムやパワフルドライブ、日付と機能性も魅力的で、ひと目惚れして購入しました。以来、愛用していますが、今でも故障することなく、毎日機嫌よく動いてくれています。価格は確か5万円くらいで、我ながらよい買い物だったと思います。皆さんにももっとご共感いただけたらと思うのですが、社会に出て初めて手にした製品で、しかもそれが良いものであれば、ずっと心に残るものです。今回の取材では、その進化ぶりに舌を巻きながら、当時の自分のチョイスが正しかったことを知って、少し誇らしい気分にもなりました。そんな気持ちをききとご理解いただけるはずですので、ぜひ店頭で手にお取ってください。

Biz Life Style 編集長 佐原 雅之



WZ0041JC ¥150,000(+税)  
替えバンド付き(ネイビー)



WZ0051JC ¥150,000(+税)  
替えバンド付き(ブラウンレザー)



WZ0041DX ¥240,000(+税)



WZ0031DX ¥250,000(+税)

### 職人の技術の結晶、自社製高級ムーブメント

右はシャンパンゴールド、左はアンティークシルバー。中に細かいパーツが見えるが、これらが少しずつ動いて針を動かす姿を想像してみたい。上の蓋けている写真でお気づきの通り、ケースサイズは少し大きめ。それによって、エッジの効いた重厚なデザインが素晴らしい。実は、このムーブメントは、パーツが極限までそぎ落とされている。それによって日差+25〜15秒の精度を保つというのだから、さすがだ。

### すべて手縫い! バンド部分まで「ひとつの作品」

機械式腕時計の最後の仕上げとも言えるバンドには、上質な本ワニ皮革を採用。締め具合を調整できるよう、職人によって一本一本、すべて手縫いで仕立てられている。ミシン縫製とは異なり、2本の糸が交差するように縫われているので、どちらかの糸が切れても簡単にほつれない。2本の針をハの字にして、より強度を増すように、オーナーに長く使用してもらえよう。そんな思いで縫われた革製バンドは、メタリックなフェイスによく似合う。



My Favorite Life Style



## より美しく、65周年記念モデル。



WZ0331DK ¥78,000(+税)



WZ0341DK ¥78,000(+税)

最後にご紹介するのは、オリエントスターの65周年を記念する限定モデル「モダンスケルトン」だ。同社では、これまでも周年モデルを発表しているが、よくあるPR色の強いものではなく、手にしたファンをカッカリさせないだけのプレミアム性を持つものばかり。このあたりの真摯な姿勢も、同社の特色となっている。

今回の限定モデルも、文字板にムーブの動きを観察できる小窓を設けるなど、腕に着けてウツリできるような高級感がたまらない。加えて、今回は普段以上にファッション性を強く打ち出しているようにも感じる。

**華やかな上品さを好む  
イタリアのセンスでカラーリング**

オリエントスターのラインナップでは、特にネイビーダイヤルとブラウンダイヤルに人気が集まる傾向があるという。今回の記念モデルでは、ユーザー評価の高いこの2つのカラーリングのアスローエマローネをベースに、こだわりたっぷりのアレンジが施されている。

アスローエマローネとは、「青色と栗色」という意味を持つ。イ

タリアのファッション界では基本とされる組み合わせで、上品さと華やかさを好むイタリア人がこよなく愛する配色なのだそうだ。

というわけで、まずグレイッシュブルーダイヤルモデルでは、2枚に重ねられており、トーンを変えらることにより立体的なデザインに。一方のブラウンダイヤルモデルは、コントラストを強くしたブラウンの2枚ダイヤルが採用された。ピンクゴールドのインデックスがダイヤルカラーを際立たせる形となっており、じっくり味わうことができそうだ。

オリエントスターのお家芸とも言える12時位置のパワリザープも健在。また、バンドは革製で、ダイヤルカラーとコーディネートされている。

**700本と5000本のみ  
の限定モデルなのでご注意ください**

65周年モデルということと、グレイッシュブルーダイヤルは700本、ブラウンダイヤルは5000本のみ限定品。発売は10月を予定しているとのことなので、逐次WEBサイトをチェックしておきたい。お急ぎの方は、下記「お客様相談室」に問い合わせしてみてください。

### 『オリエントスター 65周年アニバーサリーキャンペーン』 オリエントスターの心臓部(ムーブメント)は〇〇系

クイズに答えて正解した方に旅行券(46万円分)やオリジナルクリーニングクロスを抽選でプレゼント  
詳しくはオリエントスターキャンペーンサイトへ  
[www.orient-watch.jp/campaign/orientstar/](http://www.orient-watch.jp/campaign/orientstar/)

